

200404 丹沢・日向山～鐘が岳

初めて日向山に登りました

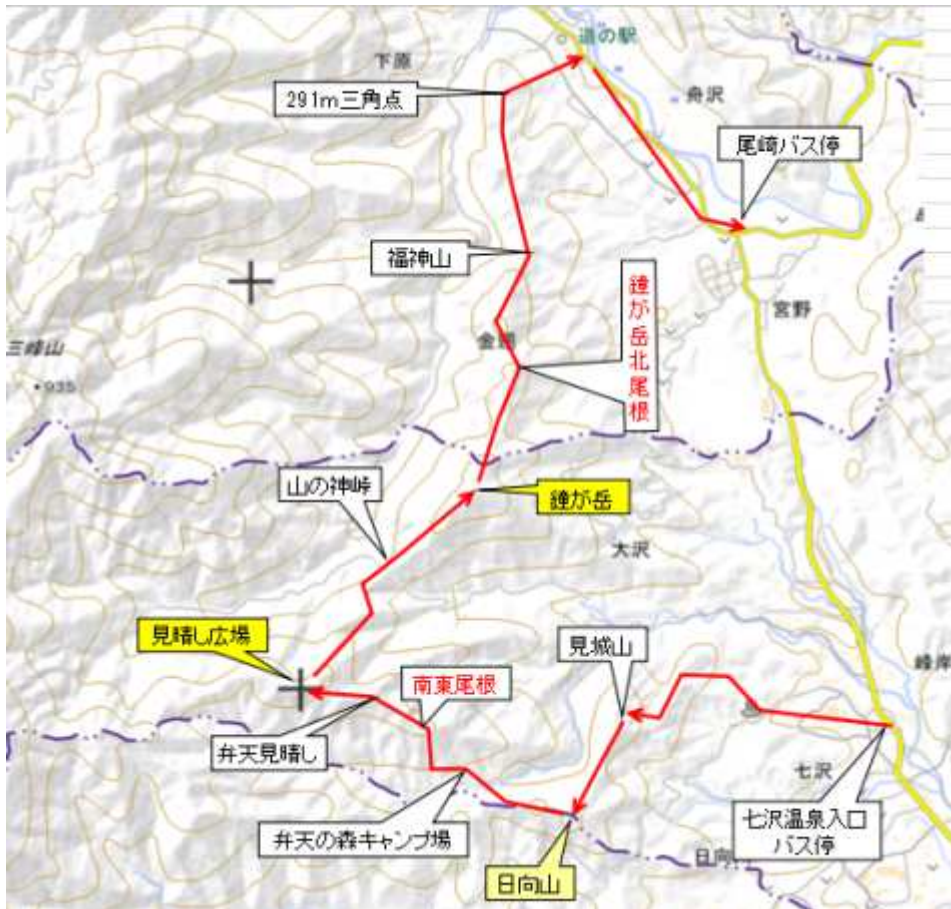
天気：晴れ

メンバー：単独行

コース&タイム：

655 小田急伊勢原駅 == 720 七沢温泉入口バス停・・・830 見城山・・・910 日向山・・・945 尾根取付き・・・
1010 ひょうたん広場・・・1050 見晴し広場・・・1150 鐘が岳・・・1315 三角点・・・1350 尾崎バス停 == 1500
小田急線本厚木駅

MAP：



写真&記録：

600 J R横浜線成瀬

いつもの様にコンビニでおにぎりを買って電車に乗る

655 小田急伊勢原駅

駅の北口ロータリーで七沢行きのバスに乗る

隣のバス停、大山行きの方に登山客が多く並んでいる

720 七沢温泉入口バス停



七沢温泉入口



登山口より見城山(左)

バス停から七沢温泉への道路に入って 20 分ほど歩く。
七沢温泉の旅館が数軒ある。
道路から右に狭い階段を登る登山道がある
標識は見城山と書いてある

最初はフィールドアスレチック場の左側を登る
道はしっかりとしている
やがて明瞭な尾根となり、250mの小ピークに着く



250m小ピーク

ここからさらに木の根が多い明瞭な尾根の急登を行く

830 見城山、375m





東側の展望が良い、ベンチ有り

戦国時代は物見のために使われた山のような山である
杉の植林の尾根を南側に一旦下ると峠に着く



日向山への登り



山桜の間から大山が見える

弁天キャンプ場を下る道がある
ひと登りで日向山にすぐに着く

910 日向山、404m

ここは樹林で展望はない、弁財天様が祀られている



登山者1名と会った
ここから西側へ梅の木尾根に向かう
降りたところが日向薬師への峠、分岐



ここから日向薬師とは反対側（北側）の道に進む
道はトラバース道となっていて歩き易い



途中、ラン科の黒い水芭蕉のような花と遭遇する

一旦、弁天の森キャンプ場（現在閉鎖中らしい）の川に降りる
人が来ない清流である、すばらしい！ この沢筋には知られざる自然空間が広がっている



沢沿いの道を300mほど登ると道標がある

945 尾根取付き



南東尾根の入り口の標識



南東尾根を見上げる

見晴し広場南東尾根の道に取りつく

とっつきから恐ろしい急登で、道は滑りやすく、ロープがある



慎重に登る、付近は山桜がきれいに咲いている



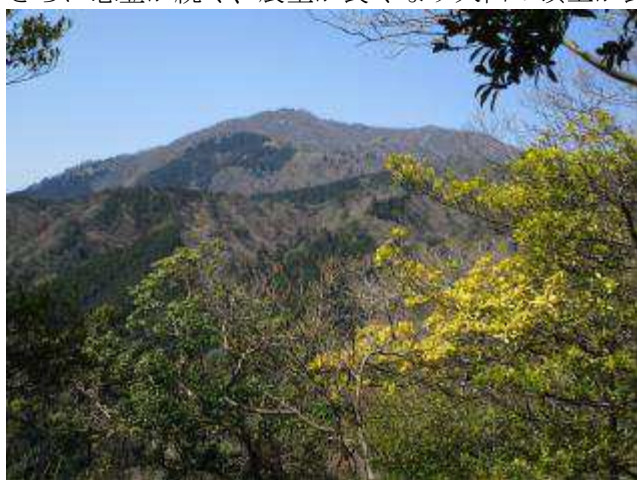
ひたすら急な尾根を登る

1010 ひょうたん広場、500m



ここには吾妻家がありベンチもある、休憩に最適

さらに急登が続く、展望が良くなり大山の頂上がよく見える



南東尾根から大山を見る

尾根は見晴し広場東尾根と合体する
合体地点は弁天見晴という標識があった



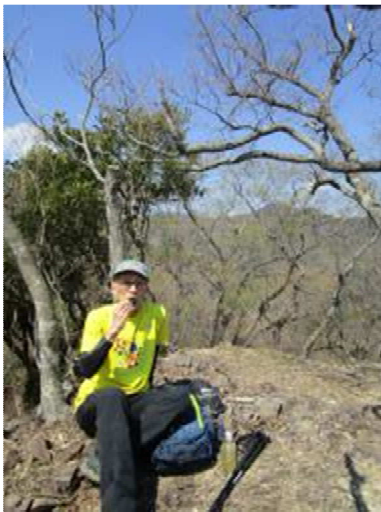
弁天見晴しも最高の展望台！



これから行く鐘が岳

1050 見晴し広場、674mピーク

今日の最高点に着き展望地点で休む、これから大山に登るという中年夫婦と会う
この付近は低山であるにも関わらず山らしくて雰囲気が良い



見晴し広場

鐘が岳へは、今度は急な下りだ
山の神トンネルへの分岐（山の神峠）につく
ここからだらだら登って鐘が岳にむかう
10人ぐらいの登山者（家族連れ、高齢夫婦、女性単独行など）とあう



山の神トンネルの上 (山の神峠)

1150 鐘が岳、561m
こも樹林のピーク
登山者 1 名とトレラン者 1 名がいる



鐘が岳山頂には不動明王像が祀られている

鐘が岳北尾根を下る、道標はなく踏み跡は少なく、下りの道は解り難い
とにかく尾根を適当に 200m ぐらい行くと踏み跡が見えてくる



その後は赤布（ミッチェル）を頼りに進む

天気が良く展望も良いので、行く先の尾根が見え解り易い



途中小さなピークの上り下りがあり長い尾根を行く
途中、福神山を通る



後半は岩交じりのやせ尾根の、しかも上り下りが多く、意外と時間がかかった

1315 291m三角点

ここは展望が抜群によい、ベンチもある、山名がないのが残念である



291m三角点



仏果山、経ヶ岳の稜線

経ヶ岳、仏果山が目の前に見える
ここからは立派な登山道をジグザグに下るとバス道にでる
バス時刻まで時間あったので、厚木方面へ少し歩いた

1350 尾崎バス停
付近に別所温泉有り



1500 小田急線本厚木駅

感想：見晴し広場南東尾根は危険箇所、スリルがあり展望は良く、低山でも登山が十二分に楽しめる
鐘ヶ岳北尾根は長く、標識が少なく地図読みが必要
総じてバランス技術、地図読み能力が必要な自然に満ちた野蛮な山で楽しめました